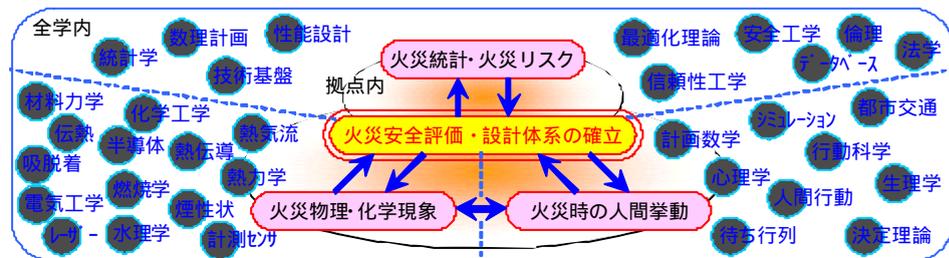


【分野名：分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	東京理科大学
拠点のプログラム名称	先導的建築火災安全工学研究の推進拠点
中核となる専攻等名	総合研究所火災科学研究部門
拠点リーダー氏名	若松孝旺

《拠点形成の概要》

本拠点は、より確かな科学的根拠に基づいた建築物の火災安全評価・設計体系を構築すべく、火災物理・化学現象、火災時の人間挙動、火災統計・リスク評価手法に関する最先端の研究を推進し、その成果を社会に還元・普及させる先導的役割を担う。そのために、本学の専任教員の補強を軸とする研究教育体制の強化、COE大学院コースの開設、PD研究員やRAの雇用を柱とする大学院生・若手研究者の研究教育支援環境の整備、国際的研究教育協力網の形成に立脚した国内外の研究機関・大学との協定締結などを行う。本プログラムの遂行により、世界最高水準の研究教育体制・環境を兼ね備えた国際的拠点が形成され、日本初の火災科学研究科創設の基盤が整備される。これが成就されれば、本学問分野に携わる優れた若手研究者・技術者が継続的に輩出される。また、本拠点が発行する英文研究論文集の刊行頻度・水準の高度化、国際シンポジウム・フォーラムの主催を契機として、国際的研究教育協力網の確固たる核としての地位を築く。社会一般に向けては、セミナーの開講などの広報活動に積極的に取り組み、火災科学分野の社会的理解・認識を広く浸透させる。一連の活動が実を結ぶことで、火災安全技術者の職能の確立が加速され、建築火災安全工学研究が飛躍的に発展し、火災から国民の生命と財産を守る社会的貢献に大きく資するものと期待される。



図：東京理科大学 21 世紀 COE プログラムの研究推進概要

火災に関する研究対象は、広範に及ぶ。そこで、拠点での火災安全評価・設計体系の確立に関する中心的研究の推進と共に、全学的に火災科学・安全に関する基礎・応用研究を推進する。